

NEWS!

# 千代田区エコツアー

6月5日は環境の日です。これは、1972年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められたものです。国連では、日本の提案を受けて6月5日を「世界環境デー」と定めており、日本では「環境基本法」(平成5年)が「環境の日」を定めています。

## ■ ツアー行程 ■ 2013年6月5日(水)

### (1) 9:30-10:30

丸の内熱供給株式会社による地域冷暖房 見学  
丸の内パークビル 地下4階

### (2) 10:45-11:30

エコツェリア次世代オフィス実証ラボ 他 見学  
新丸ビル 10階

### (3) 13:30-15:30

ホテルニューオータニの環境対応 見学

### (4) 16:15-16:45

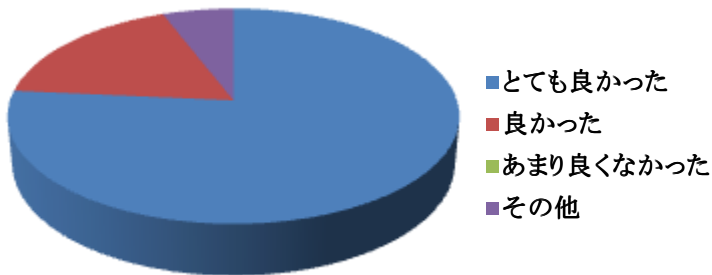
千代田区役所 環境への取り組み 紹介

この6月5日、梅雨の中休みを思わせる快晴の中、NPOサステイナビリティ創造研究学会(FSI)の当部会では千代田区役所 環境安全部 環境・温暖化対策課にご協力頂き、区内の環境施設見学会を実施しました。ツアーの行程は左記のとおり、充実した内容でありながらも、費用は無料。

12企業・団体、17名がご参加。皆様からは「初めて体験する」内容も多く、互いの名刺交換等、交流もあり、ご好評を頂きました。昨今、言われる『ステークホルダー・エンゲージメント』の実現のために、当部会では自らによるステークホルダーとの持続的な対話(サステイナブル・コミュニケーション)が、重要なカギになるものと考えています。今後とも、このような機会を創出したいと考え、取り組んでいきます。

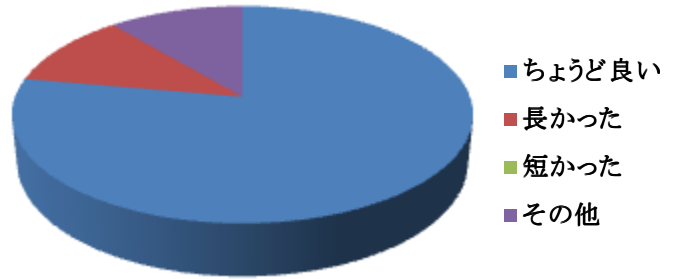


## (1) 全体的な印象



初めて知ることが多くあり、勉強になりました。もっと宣伝するべきと思います。

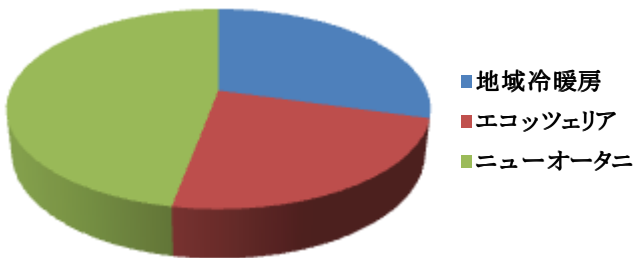
## (2) 全体的なタイムスケジュール



内容が良いので2～3日の行程で勉強会、見学会、交流会のスケジュールにプログラムを組んでも良かった。

---  
終りが16時頃だと就業時間内に会社に戻れるので助かります。

## (3) 特に印象的な施設



### ●地域冷暖房 丸の内熱供給株式会社

- ・プラントの規模大きさに感嘆しました。
- ・取組みはとても理想的だが、中小企業にとっては初期費用の面で特に難しいと感じられた。
- ・大丸有地区だけでなく、千代田区全体で取り組んで頂けると嬉しい。
- ・冷暖房など一括で供給していることを初めて知りました。
- ・コスト面等に問題はあると思いますが、今後、各地域に広がればいいと思います。
- ・都市の成長に合わせながら、スパイラルアップできるように考えられているところが、素晴らしいですね。
- ・地下に広がる最新のDHC設備の概要に驚いた。又、プラント連携による全体効率を向上させる仕組みに感動しました。

- ・近い将来、起こりうる地震対策においても、地域冷暖房の果たす役割の大きさに気付いた。
- ・都市の事業所向けではなく、街の住民向け地域冷暖房施設があったら見てみたい。

### ●エコツェリア 次世代オフィス実証ラボ

- ・環境ビジョンの情報発信が具体的で勉強になった。
- ・知的照明にとっても興味を持った。照度と色で個人の体調や業務内容も把握できるところが、環境以外にも良いと思った。
- ・やはり導入コストの面で難しい。
- ・水を循環して冷却するオフィスやリサイクルした大理石、床等を見学してエコに対する意識がさらに高まりました。
- ・エコロジーとエコミーが共存できる都市開発が世界中に広まるとよいと思った。
- ・次世代オフィス実証ラボの壁の中を冷やす方法が素晴らしい。
- ・地球儀を触ることで直近の状況を感じるデモンストレーションにまず、興味をそそられた。
- ・次世代オフィスでの「LED知的照明システム」の合理性に共感しました。
- ・「輻射空調システム」の低酸素化への新手法について次世代オフィスの理想として納得できる。
- ・「LED知的照明システム」と「輻射空調システム」の複合導入で30%の節電効果を実証できたというのに驚いた。
- ・ハイテクからローテクまでの様々な演出で環境学習できる施設が東京駅の傍にあったなんて！もう一度体験したい施設です。

### ●ホテルニューオータニのエコ活動

- ・エコロジー取組の規模、スタッフの意識の高さに感心しました。
- ・取組みは素晴らしいが、情報量が多く、よく理解できない部分もあった。
- ・空気の悪く、熱のこもっている所を2時間歩き続けるのは非常につらかった。
- ・以前、環境系のビデオ制作時に調べたことがあったが、実物を見たのは初めてでゴミ処理の内容は非常に参考になった。
- ・生ゴミを土に戻すところまで行われているとは驚きました。
- ・生ゴミから戻した土が東日本大震災の津波で塩害に困っている畑や田んぼに使われるとよいと思いました。
- ・新紀尾井町ビルの屋上に広がるバラ園の美と快適さが、ホテルの排水と生ゴミリサイクル処理で支えられている現場に感動。
- ・人材育成と実践の現場に25年もの間、おひとり活動されているとの事、後継者育成とCSRの課題が浮かんで見えた。
- ・山本さんに感心しました。次回あるとしたら、ピオトープ、ホテルも観てみたい。

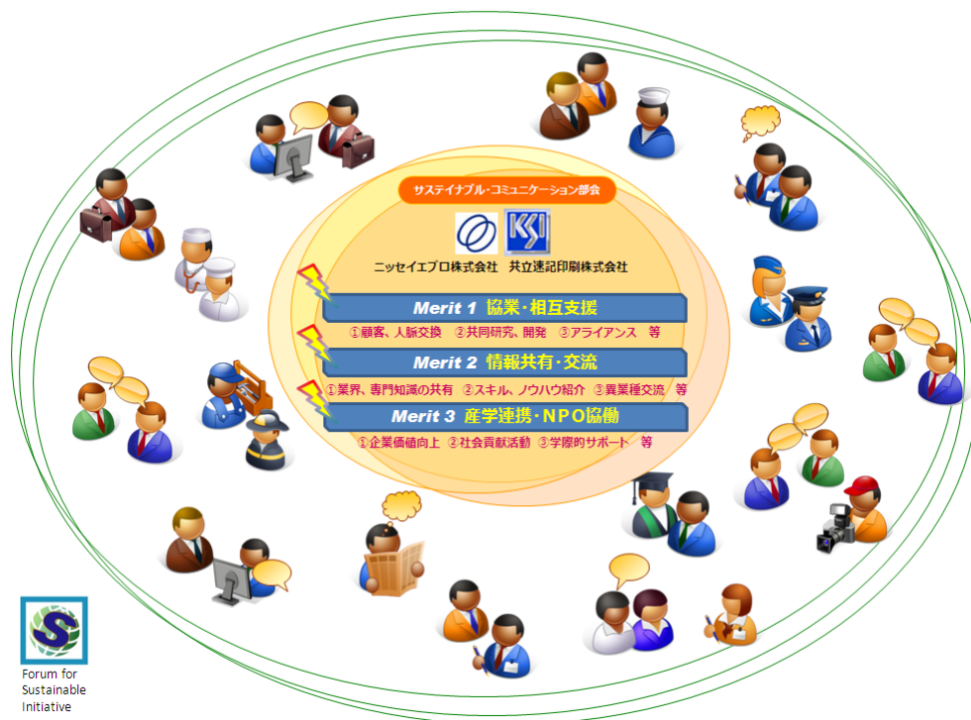
### ●千代田区 環境への取組み

- ・私の住んでいる世田谷区とは違って環境モデル都市千代田区の実践はかなり幅広く規模も予算も大きいという印象です。
- ・CESの内容はよく理解できなかった。その目的、会員のメリット、今後の計画をわかりやすく伝えるツールがもっと必要と思う。
- ・前回、本NPO報告会で千代田区の方より話を聞いていた。手厚い補助事業と住民の参画には感心しました。
- ・企業のISO14001取得が返上される中、有効なマネジメントシステムとして中小企業対象のCESがもっと広がることを期待します。

# FSI サステナブル・コミュニケーション(S.C.)部会について

## サステナブル・コミュニケーション部会

部会はNPO法人サステナビリティ創造研究学会の「専門部会」として活動しています。2011年、企業等のコミュニケーションにおける課題解決の支援事業を行っているニッセイエプロ株式会社と共立速記印刷株式会社が中心となり、発足。本部会では、このサステナブル・コミュニケーションについて研究し、最適なあり方、手法、ツール等を開発し、社会に提案していくことを目的として活動を展開している。



## サスコミ異業種交流会 (SC部会)

**「CSR等で自社の認知向上、社内活性化、本業利益拡大を志向する中小企業担当者の懇話会→部会で検討、業種、業容の重複を避け、メンバー募る。(異業種の交流)」**



● **第1回交流会**  
**2012年2月実施【参加者 8社15名】**  
**場所:ニッセイエプロ株式会社**

第1回は、まず身近な印刷関連の企業を中心に開催。「印刷業界の川上から川下までのサステナブル」について意見交換、交流会参加企業によるプレゼンテーションを実施。

「事業に通じた環境配慮の取り組みについて『カーボンオフセット印刷』」

→印刷物におけるCO2 排出量の見える化として取り組んでいる事例紹介。

● **第2回交流会**  
**2012年10月実施【参加者 10企業・団体15名】**  
**場所:ユーコープ事業連合様**  
**商品検査センター、森の里要冷セットセンター**

第1回を受けて定例のミーティングで検討。さらにもっと身近なテーマを取り上げるため、例えば「衣食住」に関連する「サステナブル・コミュニケーション」を取り上げた。

サステナビリティ創造研究学会の法人会員でもあるユーコープ様にご協力頂き、商品検査センター等、施設見学会を実施。参加者より以下、好評の声を頂く。



# 【参考】 NPO サステナビリティ創造研究学会のご紹介



詳しくは、ホームページで。 <http://fsi-21.jimdo.com/>



▲設立記念シンポジウム・懇親会 (2011年3月) 法政大学市ヶ谷校舎



▲年度研究発表報告会 (2012年3月) ▲



▲ユーコープ様 見学会/サステナブル・コミュニケーション部会 (2012年10月)



▲シンポジウム開催「エネルギーとサステナビリティ」(2012年11月) 大東文化大学



▲年度研究発表報告会 (2013年3月) ▲



〒105-0004 東京都港区新橋5-20-4 ニッセイエプロビル6F  
 特定非営利活動法人 サステナビリティ創造研究学会 事務局担当; 伊関  
 TEL・FAX/03-3431-7878 (平日; 9:00~17:00受付。土日、祝日休み)  
 Mail/info.fsi21@gmail.com Webサイト/http://fsi-21.jimdo.com/